

青森県埋蔵文化財調査報告書 第207集

# 実吉遺跡

—国道101号浪岡五所川原道路建設事業に伴う遺跡発掘調査報告—

1 9 9 7

青森県教育委員会





遺跡遠景（北西方向に津軽平野を望む）

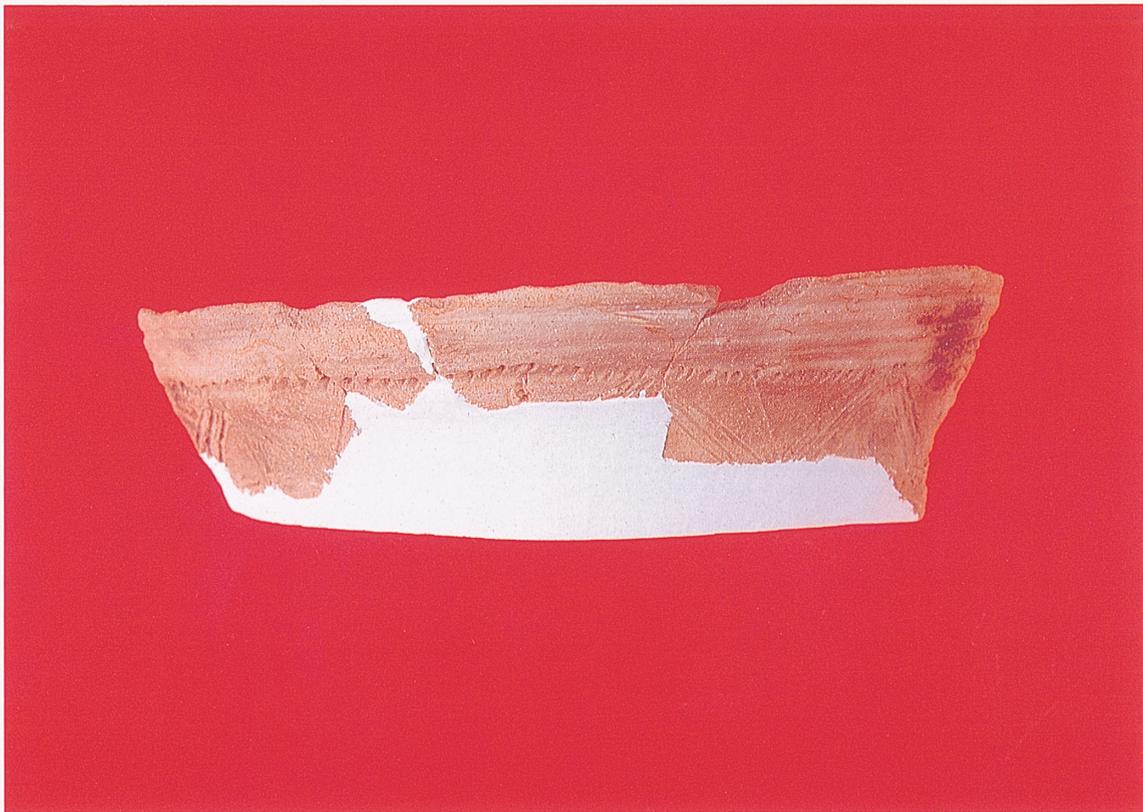


調査区中央部空中撮影





土師器・須恵器



擦文土器  
口絵 2



## 序

津軽平野に位置する五所川原市には、観音林遺跡や前田野目の須恵器窯跡をはじめ数多くの埋蔵文化財が包蔵されております。青森県教育委員会では、国道101号浪岡五所川原道路（津軽自動車道）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査を平成7年度から実施しております。

この度、平成7年度に発掘調査した五所川原市実吉遺跡の報告書がまとまり、これを刊行することになりました。

調査の結果によると、縄文時代と平安時代の遺構や遺物が出土し、時代の複合する遺跡であることがわかりました。特に平安時代の焼失家屋や下駄等の木製品は注目されるものです。

この調査結果が広く文化財の研究や地域社会の歴史学習に活用され、地域住民の文化財保護の意識の高揚につながることを期待したいと存じます。

最後に、本遺跡の発掘調査に御理解と御協力をいただいた建設省青森工事事務所及び五所川原市教育委員会と、報告書の作成にあたり御指導、御協力を賜った関係各位に対しまして、厚くお礼申し上げます。

平成9年3月

青森県教育委員会

教育長 松 森 永 祐

# 例 言

- 1 本報告書は、平成7年度に青森県埋蔵文化財調査センターが発掘調査を実施した国道101号浪岡五所川原道路建設事業に係る実吉遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 本遺跡の青森県遺跡番号は05090番である。
- 3 本報告書の執筆者名は、依頼原稿については文頭に、その他は文末に記してある。
- 4 試料の同定・分析等は、次の方々に依頼した（順不同、敬称略）。

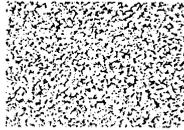
火山灰及び須恵器・土師器の蛍光X線分析	三辻 利一（奈良教育大学教授）
樹種同定	パリノ・サーヴェイ株式会社
種実同定	パリノ・サーヴェイ株式会社
放射性炭素年代測定	木越 邦彦（学習院大学教授）
天然アスファルト状物質の分析	横山 ゆかり（石油公団・石油開発技術センター）

遺跡周辺の地形と地質についての執筆及び石器の石質鑑定は、当センター総括主査の伊藤昭雄が担当した。また、木製品及び鉄製品の保存処理は、岩手県立博物館に依頼した。
- 5 本報告書に掲載した遺跡の位置図は、建設省国土地理院発行の2万5千分の1地形図に基づき作成したものである。
- 6 挿図の縮尺は、図ごとに示した。なお、遺物写真の縮尺は統一していない。
- 7 土層の注記は、『新版標準土色帖』（小山・竹原；1979）を参照した。
- 8 各遺構の規模については、それぞれ最大値を計測した。
- 9 引用・参考文献については本文末に収めた。文中に引用した文献については、著者名・編集機関と西暦年で示した。
- 10 出土遺物、実測図、写真等は、現在、青森県埋蔵文化財調査センターで保管している。
- 11 発掘調査及び本報告書の作成にあたっては、下記の方々からご協力・ご助言を得た。（順不同、敬称略）。

山口 義伸、鈴木 徹、半沢 紀、工藤 清泰、豊田 宏良、中田 裕香、宮 宏明、井上 巖、上野 秀一、本田 泰貴、原河 英二、石田 聖
--

スクリーン・実測図凡例

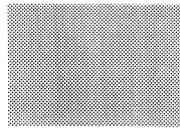
遺構



焼土



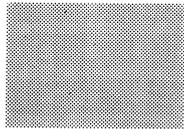
粘土



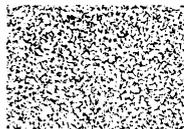
火山灰

遺物

① 土器



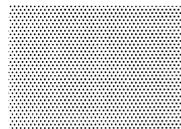
スス状炭化物



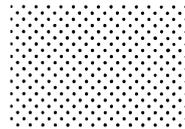
焼けた部分



黒色処理 (内黒)

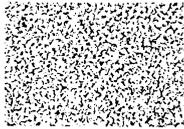


火たすき

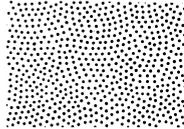


付着物

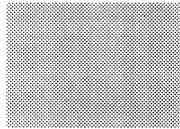
② 石器・石製品



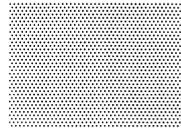
スリ



タタキ

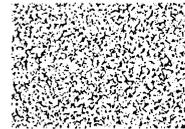


アスファルト(?)付着

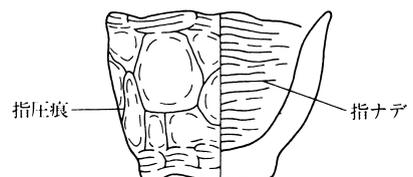
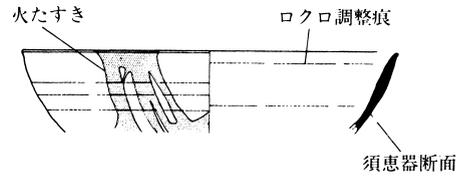
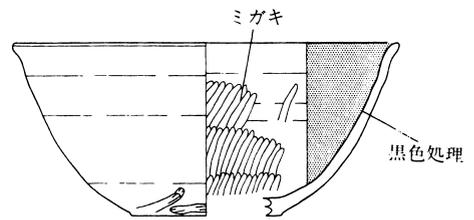
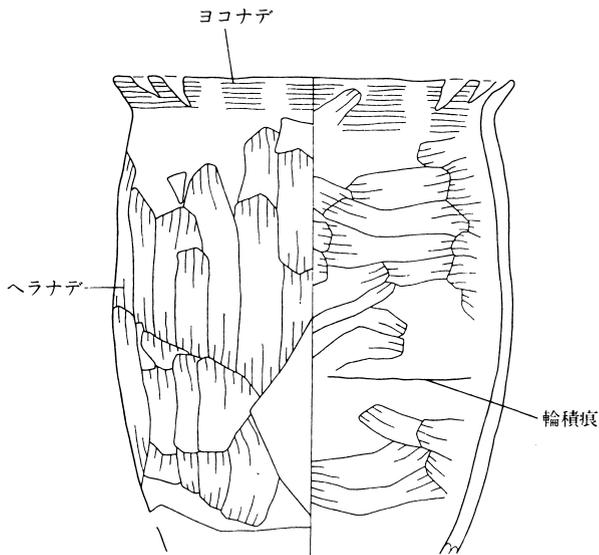


砥石使用面

③ 木製品



炭化部分



# 目 次

口絵	
序	
例言	
目次	
第I章 発掘調査概要	
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査要項	1
第3節 調査の方法	2
第4節 調査の経過	3
第II章 遺跡周辺の地形と地質	
第1節 地理的位置と周辺の地形	5
第2節 周辺の地質及び遺跡の土層	8
第III章 検出遺構と出土遺物	
第1節 縄文時代の遺構と遺物	15
1 土坑	15
2 溝状ピット	15
第2節 平安時代の遺構と遺物	17
1 竪穴住居跡	17
2 土坑	24
3 溝跡	35
4 井戸跡	51
第3節 江戸時代以降の遺構と遺物	52
1 溝跡	52
第4節 時期不明の遺構と遺物	52
1 小ピット群	52
第IV章 遺構外の出土遺物	
第1節 縄文時代の遺物	54
1 縄文土器	54
2 石器	54
第2節 平安時代の遺物	58
1 土師器	58
2 須恵器	58
3 石製品	59
4 木製品	59
5 鉄製品	59

第3節 江戸時代以降の遺物	65
1 陶磁器・銭貨	65
第4節 時期不明の遺物	65
1 アスファルト状物質	65
第V章 調査の成果	
第1節 検出遺構	67
1 竪穴住居跡	67
2 土坑	67
3 溝跡	68
第2節 出土遺物	69
1 土師器	70
2 須恵器	71
3 擦文土器	72
4 木製品	73
5 陶磁器	73
第VI章 自然科学的分析	
第1節 火山灰の蛍光X線分析	(奈良教育大学 三辻利一) … 74
第2節 須恵器・土師器の蛍光X線分析	(奈良教育大学 三辻利一) … 76
第3節 木製品の樹種	(パリノ・サーヴェイ株式会社) … 79
第4節 種実同定	(パリノ・サーヴェイ株式会社) … 82
第5節 学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	(学習院大学 木越邦彦) … 83
第6節 天然アスファルト状物質の分析 (石油公団・石油開発技術センター 横山ゆかり)	… 84
第VII章 まとめ	91
◇引用・参考文献	92
◇写真図版	93
◇報告書抄録	118



图1 遺跡位置图